
「第2回特発性心室細動研究会」特集号の発行にあたって

特発性心室細動研究会(J-IVFS)代表幹事 平岡昌和
(東京医科歯科大学名誉教授・厚生労働省労働保険審査会委員)

器質的心疾患を有しない症例に致死的不整脈である心室細動を発症する特発性心室細動は、特異な心電図所見を示すところから注目されるBrugada症候群と、そのような心電図学的特徴を示さない特発性心室細動が含まれる。Brugada症候群、ないしは類似の心電図所見を呈する症例は、我が国において比較的多く(欧米諸国に比べ)見られるところから、その臨床病態や成因、致死性不整脈の予防・予知に関する研究が我が国においても盛んに行われている。特発性心室細動研究会は、個々の大学・医療機関で取り扱う症例は限られるところから、全国的な規模での研究会を立ち上げ、情報の交換と本病態の解明を目指して活動を続けている。本特集号は平成16年2月に開催した「第2回特発性心室細動研究会」における研究成果発表をまとめたものである。今回の第2回研究会においては、Brugada症候群だけでなく、そのような特徴的な心電図所見を欠きながら心室細動を発症する特発性心室細動に関する発表も行われて、活発な議論がたたかわされた。これらのことから臨床の現場では、如何に多彩な症例が隠されており、それぞれの先生方が特発性心室細動の診断と対策に悩んでいることが改めて浮き彫りにされた。本研究会の成果が、日本心電学会誌「心電図」の特集号として掲載されることにより、研究会に参加されなかった方々にもその内容が周知され、少しでも臨床の場にフィードバックされることを祈念するものである。

平成16年11月